

# Indonesia Weekly

2019年1月15日



(対象期間：2019/1/7～2019/1/11)

## 【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年1月11日)



## 【株式市場】

パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長のハト派発言などを背景に、前週末に米国株が反発したことで、週初のインドネシア株式市場は堅調となりました。その後は、利益確定売りが優勢となったことで下落しましたが、米国株の上昇が継続したことで投資家心理が改善し、また外国人投資家からの資金流入が続いたことで、週末にかけて再度上昇する展開となりました。

2019/1/4	2019/1/11	変化率
6,274.54	6,361.47	1.39%

## 【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年1月11日)



## 【債券市場】

前週末のパウエルFRB議長によるハト派発言などを受けて投資家心理が改善したことから、週初にインドネシア10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。その後は利益確定売りなどにより、利回りは小幅に上昇（価格は下落）する流れとなりましたが、米国の利上げペースの鈍化期待などを背景に、週末まで落ち着いた値動きが続きました。

2019/1/4	2019/1/11	変化幅
8.093	7.981	-0.112

## 【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年1月11日)



## 【為替市場】

ルピアは対米ドル、対円で上昇しました。前週末のパウエルFRB議長によるハト派発言などを受けて、投資家心理が改善したことからルピアは週初に上昇しました。8日に発表された外貨準備高は3か月連続の増加を記録しました。その後は利益確定売りの動きも見られましたが、米国の利上げペースの鈍化期待などを背景に、週末まで安定した値動きが続きました。

2019/1/4	2019/1/11	変化率
0.7577	0.7718	+1.86%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャルとは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ